

令和7年度 公 共 (50分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 2 この問題冊子は35ページである。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始の合図前に、監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に以下の内容をそれぞれ正しく記入し、マークすること。
 - ・①氏名欄
氏名を記入すること。
 - ・②受験番号、③生年月日、④受験地欄
受験番号、生年月日を記入し、さらにマーク欄に受験番号(数字)、生年月日(年号・数字)、受験地をマークすること。
- 4 受験番号、生年月日、受験地が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークすること。例えば、

10

と表示のある解答番号に対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の②にマークすること。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってよい。

公 共

(解答番号 ~)

1 生徒たちは「公共」の学習のはじまりとして、「公共的な空間」をつくる私たちの生き方や考え方について学んでいる。問1～問5に答えよ。

1 先生と生徒たちが私たちの生き方や考え方について会話している。

会話文

先生：先日、職業の意義や職業選択について学習し、職業選択は人生にとって大きなテーマであることが分かったと思います。資料1を見てください。この資料1は現在18歳の4人の高校生が、これまでの自分の人生を振り返りながら、将来のライフプランを考えたものです。現在を中心として、左側はこれまでの活動、つまり18歳になるまでにどのような活動をして自分のキャリアを積み重ねてきたかを示し、右側は今後のライフプラン、つまり今後どのような人生を歩んでいきたいのかについて示しています。この資料1を見て、どんな点に気がつきますか。

生徒T：私は4人のこれまでの活動に注目してみました。これまでの活動を見てみると、4人も学校以外の地域や家庭で、様々な事を学んでいるのだということに気がつきました。

生徒U：私は同様に、ということに気がつきました。また、高等学校にも様々な学科や多様な学びがあるのだと気がつきました。

生徒V：私は今後のライフプランに着目しました。今後のライフプランを見ると、4人全員が将来の職業について真剣に考えていることに気がつきました。

生徒W：私も今後のライフプランに着目しました。今後のライフプランを見ると、ということに気がつきました。新たなことにチャレンジしようとする姿勢が、すごいと思います。

生徒T：ライフプランに結婚と書いている人が3人いるけれど、私は結婚よりも仕事や趣味など自分がやりたいことが多いから結婚とは書きにくいです。

生徒V：私は結婚と書きたいと思います。でも、子供を育てたいかどうかは、ちょっと微妙です。

先生：それはなぜですか。

生徒V：子供を育てるためには、職場やパートナーの理解が必要だと思うので、1人では決められないです。

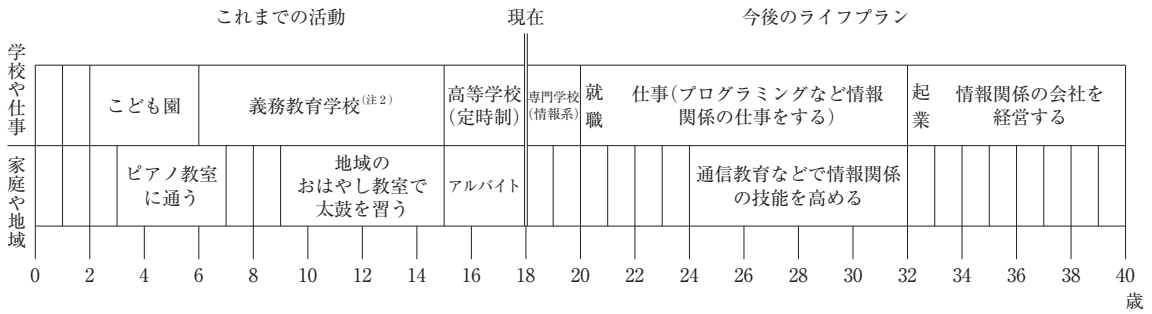
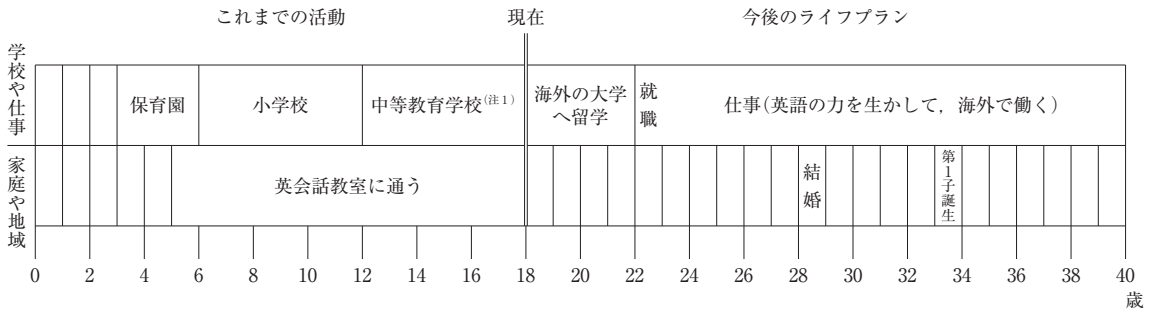
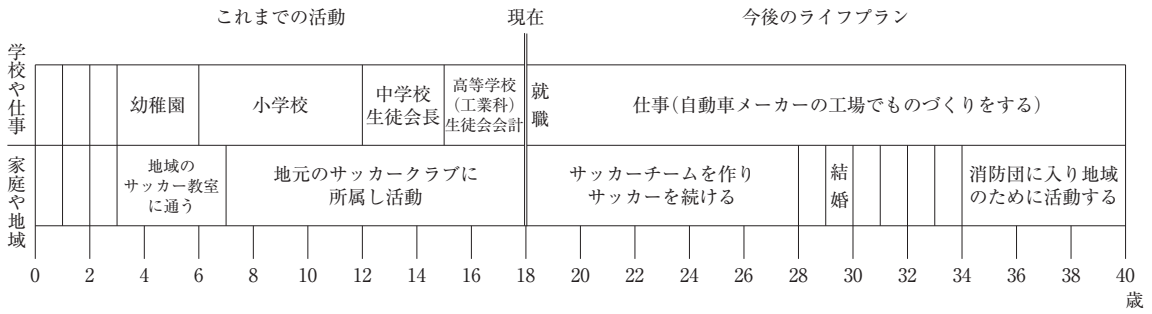
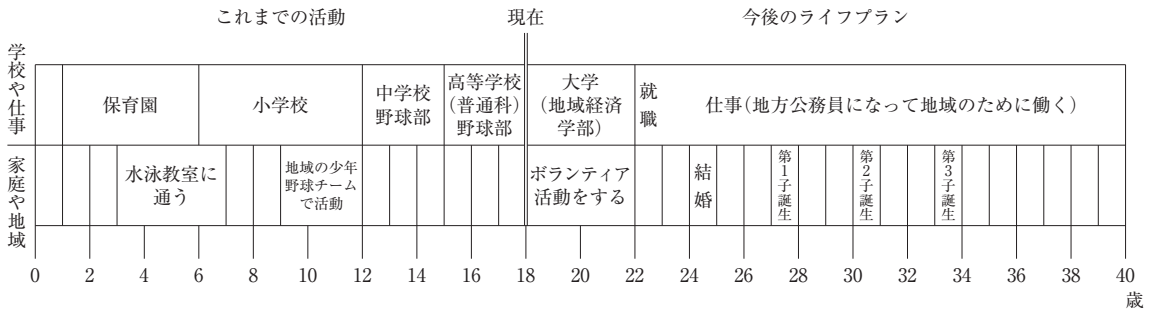
生徒W：確かにそうだね。でも、私は結婚して子供を育てたいなあ。私は3人兄弟の末っ子で、両親は2人とも働いていて忙しそうだけれど、最近は子育て支援の制度も整ってきて、仕事をしながら私たち兄弟を育てるのが楽しいし、充実しているといつも話しているよ。

生徒U：それにしても就職とか結婚とか子育てとか、^(a)人生には課題が多いように感じるね。

生徒W：課題と考えると大変だけれど、そこには大きな喜びや楽しみがあると思うから、私はできたら仕事も結婚も子育ても前向きに考えていきたいと思います。

先生：そうですね。自分が豊かな人生をおくる上で、どのようなことにチャレンジし、どのような経験をし、何を得意としようとするのかを考えることが大切ですね。皆さんも、これまでの歩みを振り返りながら自分を見つめなおし、ライフプランを考えてみましょう。

資料1



(注1) 中等教育学校とは、中学校から高等学校までの6年間で一貫した教育を行う学校

(注2) 義務教育学校とは、小学校から中学校までの9年間で一貫した教育を行う小中一貫校

問 1 会話文中の **A** , **B** にあてはまるものの組合せとして適切なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **1** 。

A にあてはまる選択肢

- ア 高等学校もしくは中等教育学校で, 部活動に所属し活動している人は1人もいない
- イ 高等学校もしくは中等教育学校で, 生徒会活動に取り組んでいる人がいる

B にあてはまる選択肢

- ウ 4人全員が, 高等学校もしくは中等教育学校を卒業後進学したいと考えている
- エ 将来, 自分でビジネスを始めたいと考えている人がいる

	A	B
①	ア	ウ
②	イ	ウ
③	ア	エ
④	イ	エ

問 2 下線部分^(a)人生には課題が多いに関連して、次のメモは、アメリカの心理学者ハヴィガーストが提唱した発達課題に関する授業内容をまとめたものである。資料 1 とメモを読み取った記述として適切でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 2。

メモ

ハヴィガースト(1900～91)は、人生の各段階に課題があり、課題を達成することでスムーズに次の段階に移行することができると考え、乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、中年期、老年期という6つの段階とその段階における発達課題を示した。そのうち、青年期、壮年期、中年期の課題は次のようなものがあげられる。

青年期(12歳ころから18歳ころまで)

- ・結婚と家庭生活の準備をする。
- ・自分の身体構造について理解する。
- ・職業や経済的自立に向けて準備をする。

壮年期(18歳ころから30歳ころまで)

- ・職業に就き経済的に自立する。
- ・配偶者を選択し、家庭生活を営む。
- ・第1子を家族に加え、養育する。

中年期(30歳ころから60歳ころまで)

- ・市民的、社会的責任を果たす。
- ・中年期の生理的变化に適應する。
- ・老年期の両親へ適切な対応をする。

- ① 資料 1 中の高校生 4 人が、現在、高等学校や中等教育学校に通学して勉強しているということは、メモ中のハヴィガーストによる青年期の発達課題「職業や経済的自立に向けて準備をする」に相当する。
- ② 資料 1 中の高校生 4 人が、今後のライフプランに記入している「就職して働く」ということは、メモ中のハヴィガーストによる壮年期の発達課題「職業に就き経済的に自立する」に相当する。
- ③ 資料 1 中の高校生 3 人が、今後のライフプランに記入している「結婚する」ということは、メモ中のハヴィガーストによる中年期の発達課題「中年期の生理的变化に適應する」に相当する。
- ④ 資料 1 中の高校生 1 人が、今後のライフプランに記入している「消防団に入り地域のために活動する」ということは、メモ中のハヴィガーストによる中年期の発達課題「市民的、社会的責任を果たす」に相当する。

- 2 次の資料2は、「公共」の授業で発表を行うための資料として生徒Xが作成したものである。下の会話文は、発表の前に生徒Xと生徒Yが交わしたものである。

資料2

度重なる紛争で使用された生物化学兵器や放射性物質の影響で、人類は深刻な遺伝子疾患の増加という問題に直面していた。健康な次世代を残せない人々は総人口の20%に達し、その救済措置として本格的な遺伝子操作技術が解禁された。これは両親の遺伝子の無傷な部分をパッチワークのようにつなぎ合わせて受精卵に移植するもので、この技術により出生した人間の多くは知能・身体能力とも優れており、髪・肌・目の色など、外見のデザインも可能であった。彼らは「コーディネイター」と呼称され、多数派である自然に出生した人間「ナチュラル」と、次第に対立するようになっていった。

(矢立肇・富野由悠季原作／後藤リウ著『機動戦士ガンダム SEED』により作成)

会話文

生徒X：この資料2は、近未来の世界を描いたあるアニメーションの設定をまとめたものだけど、今度の「公共」の授業の発表でこの資料を利用して、生命倫理、特に人間の遺伝子操作の是非について、みんなと一緒に考えてみたいと思うんだ。

生徒Y：このアニメーションは私も知ってるよ。この物語では、遺伝子操作で優れた人類を生み出したことが差別や階級対立の原因になってしまったけれど、プラスの側面もあるんじゃないかな。遺伝子の研究は現代社会においても、農業や医療など様々な分野で実用化されているよね。

生徒X：そうだね。でも、それによって本当に人間は幸せになれたのかな。かえって新たな悩みを抱えてしまったように思うんだ。

生徒Y：新たな悩みって、どんなことがあるのかな。

生徒X：例えば遺伝子診断は、病気の予防や早期治療に役立つと言われているね。約10年前にアメリカの俳優さんが遺伝子診断で乳がん発症のリスクが分かって、両乳房を切除したというニュースがあったよね。今では約10万人が検査を受けているそうだよ。だけど、**C**と思う。

生徒Y：なるほど。

生徒X：それから出生前診断は、胎児の障害や遺伝性疾患の有無を知ることが部分的に可能になったと言われているけれど、**D**。実際、出生前診断で胎児に先天的な異常の可能性が認められた場合、日本では約8割の親が人工妊娠中絶を選んでいるというデータがあるんだ。

生徒Y：それだと遺伝子診断は、かつての優生思想のように、病気や障害をもつ人々の生きる権利を奪うものになってしまうね。この間ニュースで知ったんだけど、日本では1948年に定められた旧優生保護法に基づいて、**E**んだよね。

生徒X：そうだね。だから新しい技術がかえって個人の尊厳や人格を傷つけてしまう危険性もあると思うんだ。

生徒Y：生命倫理に関わる問題は、今後もさらに新しい技術が導入されて、一般的になる可能性があるね。だからこそ、みんなが自分の問題として考える必要があるよね。

問 3 会話文中の **C** , **D** , **E** にあてはまるものの組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **3** 。

C , **D** にあてはまる選択肢

- ア 病気になる可能性が分かることで、就職や結婚の場面での差別につながる危険性がある
- イ 障害のある人に対する差別や、命の選別につながる危険性がある

E にあてはまる選択肢

- ウ 遺伝性疾患などとみなされた人に対して、本人の同意なく不妊手術を行っていた
- エ クローン人間の作製は、同じ人格の人間を作り出すことになるので禁止された

	C	D	E
①	ア	イ	ウ
②	ア	イ	エ
③	イ	ア	ウ
④	イ	ア	エ

問 4 資料 2 に関連して、生徒 X と生徒 Y は、遺伝子操作技術を人間に適用することに対する推進派と反対派の主張をそれぞれ明確にするために、生徒 X は推進派の主張、生徒 Y は反対派の主張の参考となる思想家の考え方をまとめたカード 1、カード 2、カード 3、カード 4 を作成した。生徒 X と生徒 Y の作成したカードの組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

カード 1

親は、子供のために最良と思われる選択をする自由をもつべきである。遺伝子操作技術を選択することが、子供の自立や「開かれた未来に対する権利」を侵害することなく、むしろその可能性を広げることができるものであれば、道徳的にも許容されるべきである。

カード 2

遺伝子操作技術が広まると、人間が「製品」として扱われるリスクがあり、これが人間の尊厳を損なうことにつながる。また、子供は自分の人生や能力が親の選択によって決定されたと感じ、子供の自己理解や自律性が損なわれるおそれがある。

カード 3

遺伝子操作技術が市場に委ねられることで競争が生まれれば、技術の進歩やコストの低下が期待され、経済格差による不平等は解消される。遺伝子操作が多くの人々に利益をもたらし、全体の幸福を増進するのであれば、この技術は肯定されるべきである。

カード 4

遺伝子操作技術の選択は、自然や運命に対する謙虚さを欠く行為であり、親が子供の将来を完全にコントロールしようとする傲慢さを示している。人生は神からの「贈り物」であり、ありのままの自分や他者を受け入れることが重要である。

生徒 X (推進派)

生徒 Y (反対派)

- | | | |
|---|---------------|---------------|
| ① | カード 1 ・ カード 2 | カード 3 ・ カード 4 |
| ② | カード 1 ・ カード 3 | カード 2 ・ カード 4 |
| ③ | カード 2 ・ カード 3 | カード 1 ・ カード 4 |
| ④ | カード 2 ・ カード 4 | カード 1 ・ カード 3 |

3 次の資料3は、「公共」の授業で先生が生徒たちに提示したもので、下の会話文は、授業時の先生の間いかけと生徒たちの発言である。

資料3

アメリカ合衆国「愛国者法」(2001年10月成立)の主な内容

- ・テロリストおよびその支援者への罰則強化
- ・テロリストの疑いのある外国人の司法手続き無しでの拘束が可能
- ・連邦捜査局(FBI)などによる電話の盗聴やネット監視の司法手続き簡略化
…令状無しでの通信記録入手が可能
- ・金融機関の口座管理強化の義務づけ
…特に外国の個人や団体が関与する資産移動に対する規制権限が強化
- ・医療機関や図書館が保管する個人利用記録の提出命令
…図書館や書店に対し、利用者の読書履歴の提出を求めることが可能

会話文

先生：この資料3は、2001年9月のアメリカ同時多発テロをきっかけに成立した、包括的なテロ対策法である「愛国者法」の主な内容についてまとめたものですが、成立当初から「**F**」をおびやかすのではないかと指摘がありました。皆さんはどう思いますか。

生徒X：テロを未然に防ぐためだとしても、「**F**」の原則に反するような内容が多く含まれていると思います。例えば「テロリストの疑いのある外国人の司法手続き無しでの拘束が可能」という内容は、法定手続きの保障に反していると思います。それに、この法律ができてから、アラブ系など特定の民族的ルーツをもつ住民への人権侵害が横行したと聞いたことがあります。

生徒Y：「令状無しでの通信記録入手が可能」という内容も、法定手続きの保障に反していると思います。これと似ているものとして、日本にも「通信傍受法」がありますが「**G**」の監視につながるおそれがある」という批判があります。私もたとえ非常事態であっても、「愛国者法」は望ましくないと思います。

先生：2人とも良く考えて発言してくれましたね。皆さんが指摘してくれたように、「愛国者法」の内容はアメリカの議会でも問題視され、2015年6月に失効しました。そしてこの法律の後継として、令状無しでの情報収集を禁止するなど、人権に配慮した「米国自由法」が成立しました。

問 5 会話文中の **F** , **G** にあてはまる語句の組合せとして適切なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **5** 。

F**G**

- | | |
|--------|-------------|
| ① 法の支配 | 国民による国家権力 |
| ② 法の支配 | 国家権力による市民社会 |
| ③ 人の支配 | 国民による国家権力 |
| ④ 人の支配 | 国家権力による市民社会 |

2 あるクラスでは「ルールやきまり、法の意義や役割とは何だろう」というテーマで、それぞれのグループが関心をもっている事柄について調べたり、意見交換したりしている。問1～問5に答えよ。

問1 生徒たちは、身近なきまりについて話し合うことにした。話し合った後、生徒Xは授業の中で出てきたいくつかの論点について調べて、下の**生徒Xのメモ**に書きとめた。**生徒Xのメモ**中の **A** , **B** にあてはまるものの組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6** 。

会話文

生徒X：この前、部活動を終えた後にお腹をすかせて家に帰ったら、妹と弟がお菓子を食べていて、チョコレートが6個だけ残っていました。そこで、その6個のチョコレートの取り合いになったのですが、騒ぎを聞いて部屋に入ってきた母が「我が家では、みんな同じ2個ずつ分けるというきまりにします。」と言って分けてしまいました。私は納得がいきませんでした。

生徒Y：では、どうすれば良いと思ったのですか。

生徒X：母が一方的に決めるのではなく、取り合いが落ち着いた頃に、3人が意見を言い合って、話し合いで決めたかったです。

生徒Y：時間をかけずにさっさと2個ずつ分けたのだから、お母さんのきまりは良いと思いますよ。

生徒X：そうかなあ。母のきまりは、良いきまりじゃないような気がしますけど…。

生徒Y：その時の状況や自分の置かれた立場によって評価は変わるかもしれませんね。一度つくられたきまりであっても、状況などの変化によって適切なものとは言えなくなるようであれば、改善していくことが必要だと思います。

生徒Xのメモ

○この議論について先生に聞いてみると、「効率や公正という考え方を使得て考えれば良い」とヒントをくれた。効率とは「限られた資源や時間を無駄なく使得て社会全体でより大きな成果を得る」ことだそうだ。公正には、機会が不当に制限されていない機会の公正、関係者が参加して決定する手続きの公正、不当に不利益を被る人がいない結果の公正があるらしい。私は **A** を重視していたのだなと考えた。

○今のきまりが効率的でなく公正でもない場合は、そのきまりを **B** ことが重要だ。

- | | |
|----------|----------|
| A | B |
| ① 効率 | 変える |
| ② 効率 | 変えない |
| ③ 手続きの公正 | 変える |
| ④ 手続きの公正 | 変えない |

問 2 生徒たちは、どのようにきまりを評価し、運用をすれば良いのかを調べ、話し合いをした。次の会話文中の **C** , **D** にあてはまるものの組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **7** 。

会話文

生徒 X : 私が所属している部活動には、「部活動の雰囲気を乱した人は、部活動に参加してはならない」というきまりがあります。このきまりの「部活動の雰囲気を乱した」という部分は、 **C** という点からすると問題があると思います。

生徒 Y : 昨日、私の部活動では、部室にごみを散らかす人が多いので、「部室にごみを散らかした人は、中庭の掃除をすること。ただし、先週ごみを散らかした人も、今週掃除をすること」というきまりを決めました。このきまりは、 **D** という点から問題があると思いました。

C にあてはまる選択肢

- ア その内容が誰にでもわかるような書き方になっているか
- イ その内容が人によって自由に解釈できるような書き方になっているか

D にあてはまる選択肢

- ウ ある行為によってどのような罰が科されるのかが、行為の時点で予測できるようなものとなっていたか
- エ ある行為に対してどのような罰があるのかを知っていたかどうかを問わず、同じ罰が科されるものとなっていたか

	C	D
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

問 3 次の資料は、生徒たちが法の分類について図書館から借りた本を読んでまとめたものである。資料中の **E** , **F** , **G** にあてはまる語句の組合せとして適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **8** 。

資料

法の分類		内容	例
国内法	E	公権力と私たちとの間の権利義務関係を規定したり、公権力相互の関係について定めたりする法	日本国憲法, 刑法, 民事訴訟法
	私法	私たちの生活を一人ひとりの意思と責任で形成するという F のもと、私たちの取り引きなどが適正なものになるためのルールを定める法	民法, 商法
	社会法	国家の役割には弱者の救済や社会生活の安定も含まれるという思想を背景にして、労働や社会保障など社会的な課題を解決するための法	G
国際法	条約	国家間の合意事項を成文化し、締約国を拘束するもの	障害者の権利に関する条約
	国際慣習法	成文化されていないが習慣的に繰り返し行われており、多くの国家の間で法的拘束力があるものとして暗黙のうちに合意されたもの	かつての「公海自由の原則」

E

F

G

- | | | |
|-------|----------|-----------|
| ① 公法 | 所有権絶対の原則 | 地方自治法 |
| ② 自然法 | 所有権絶対の原則 | 男女雇用機会均等法 |
| ③ 公法 | 私的自治の原則 | 男女雇用機会均等法 |
| ④ 自然法 | 私的自治の原則 | 地方自治法 |

問 4 生徒たちは法の機能について調べた。法の機能について書いたカード a, カード b, カード c, カード d と, 具体例ア, イ, ウ, エの組合せとして適切なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

カード a
 人々の行動を規制し,
 社会の秩序を維持する機能

カード b
 人々の経済活動を促進する機能

カード c
 トラブルを防いだり,
 解決したりする機能

カード d
 限られた資源を配分する機能

- ア 社会を安定させるために, 他人のものを盗む行為を「窃盗罪」とし, その罪を犯した場合の罰を定めておくことで, 人々が犯罪を行わないようにする。
- イ 代金を支払えば, 買い手は売買契約に沿って商品を受け取ることができると保障されていることで, 安心して取り引きができる。
- ウ 政府が公共サービスを提供したり, 社会保障の政策を行ったりすることで, より公正で平等な社会の実現を目指す。
- エ 「同じ土地が異なる人物へ二重に譲渡された場合には, 先に法務局へ登記(登録)をした者が優先される」と決めておくことで, 土地の権利に関する争いが起きたときに, どちらが保護されるかを判断しやすくする。

	カード a	カード b	カード c	カード d
①	ア	イ	ウ	エ
②	イ	ア	エ	ウ
③	ア	イ	エ	ウ
④	イ	ア	ウ	エ

問 5 生徒たちは、次の**発表原稿**を作成して、それに基づいて発表を行った。その発表の内容をまとめた文として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

発表原稿

もし、みなさんがたった一人で暮らしているとしたら、きまりは必要でしょうか。少し考えてみてください。

きっと必要ないと思えるのではないのでしょうか。きまりは、一人ではなくだれかとともに生活をしたり、社会をつくったりするときに必要になるからです。いろいろな人と一緒に生活するときには、考え方のちがいからトラブルが起こります。そうしたトラブルを解決し、他者とともにうまく生きていくためにルールやきまりが必要なのです。

少人数の社会であれば、簡単なきまりがあればうまく生活できるかもしれません。しかし、ともに生活する人が多くなると、そうはいきません。社会が大きくなればなるほど様々な価値観や考えをもった人が多くなるため、簡単なきまりだけでは社会が安定しなくなるからです。他者と社会をつくっていくときに秩序が必要になり、人々に強制する力をもったきまりが生まれます。

どのようにきまりをつくったり変えたりするのか、どのようにトラブルや問題を解決するのかを明らかにしておくことが必要になってきます。これらを文章にしたもので、国家によって示されるきまりが法律なのです。

- ① きまりは、様々な価値観をもった人たちが共生する社会において必要なもので、国家によって示されるきまりが法律であるということがわかった。
- ② 私たちの安全や安心を守るためには、私たち自身の自由を常に法律で制限しておくことが必要だとわかった。
- ③ 法律は、一人で生きるときはもちろん、多くの人が共生するために必要なもので、絶対に変えられないということがわかった。
- ④ 法律は、権力をもった人が一人で作くり出したきまりなので、その内容に関わらず守らなければならないということがわかった。

3 「公共」の授業で、先生と生徒が現代の政治について会話している。次の会話文を読んで、問1～問5に答えよ。

会話文

先生：国内外の政治について、振り返ってみましょう。

生徒X：アメリカと日本では政治制度や^(a)選挙制度について共通している点とそうでない点があったよね。

生徒Y：どちらも三権分立という点は共通していたね。一方で大統領制と^(b)議院内閣制のように政治制度が異なっていたよね。

生徒X：選挙といえば、日本では若者の選挙離れが進んでいると、授業だけでなくニュースでも見たよ。他に課題はないかな。

生徒Y：私が気になったのは議員一人あたりの有権者数の問題だよ。ノート1を見てみて。日本の小選挙区制における一票の格差についての例を書いてみたよ。有権者が最も少ないC県1区を1とした場合、D県1区は有権者が2.5倍いるということを示しているよ。C県1区とD県1区では、一票の価値はどちらの方が高くなるかな。

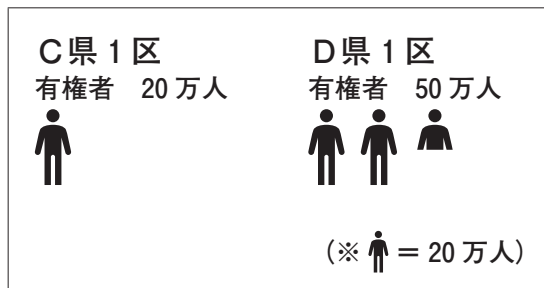
生徒X：私は、**A** だと思うな。

先生：正解ですね。

生徒X：小選挙区制における一票の格差を是正するために、**B** という方法もあるね。

生徒Y：国民の声を偏りなく反映させるための方法を考えていかななくてはいけないね。国会議員をはじめ私たちは、より多くの人々が暮らしやすい社会をつくるために努力を続けていく必要があるよ。国の政治だけでなく、^(c)地方自治にも積極的にかかわっていきこう。

ノート1



問 1 会話文中の **A** , **B** にあてはまるものの組合せとして適切なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **11** 。

A にあてはまる選択肢

- ア C県1区
- イ D県1区

B にあてはまる選択肢

- ウ 有権者の少ない県の議員定数を増やし, 有権者の多い県の議員定数を減らす
- エ 有権者の少ない県の議員定数を減らし, 有権者の多い県の議員定数を増やす

- | | A | B |
|---|---|---|
| ① | ア | ウ |
| ② | ア | エ |
| ③ | イ | ウ |
| ④ | イ | エ |

問 2 下線部分^(a)選挙制度について, 次のノート2は, アメリカの大統領選挙について生徒が調べたものである。先生が資料をもとに生徒へ問いを出し, 生徒はノート2を見ながら発言をしている。生徒X, 生徒Y, 生徒Zの発言の正誤の組合せとして適切なものを, 次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **12** 。

ノート2

- ・アメリカの大統領選挙人を決める選挙は, 首都であるワシントンD.C. とすべての州ごとで投票が行われる。
- ・国民(州民)は大統領選挙人を選ぶための投票を行う。
- ・一部を除き大多数の州で勝者総取り方式が採用され, この投票で最も多い票を集めた候補者がその州の大統領選挙人をすべて獲得する。
- ・アメリカ全土の大統領選挙人の過半数を獲得した候補者が大統領となる。

資料 大統領選挙のシミュレーション

州名	大統領選挙人の数(人)	得票数(万票)	
		候補者V氏	候補者W氏
あ	40	135	165
い	10	27	63
う	30	100	150
え	15	80	20
お	20	130	70
得票総数		472	468

先生：今日はアメリカの大統領選挙について考えていきましょう。資料は大統領選挙のシミュレーションを示しています。この資料においては、アメリカの州が全部で5州だとし、そのすべての州で勝者総取り方式が採用されているとします。ノート2と資料から見て分かることを発表してみましょう。

生徒X：アメリカの大統領は日本の内閣総理大臣とは異なり、直接選挙で決められるということだね。

生徒Y：獲得した選挙人の数で勝敗がわかるんだね。すべての州を合算した全米での得票数が一方を上回っても、選挙に負けてしまうことがあるよ。

生徒Z：5つの州での得票総数がW氏より多いV氏が当選すると思うよ。

	生徒X	生徒Y	生徒Z
①	正	誤	誤
②	正	正	正
③	誤	誤	正
④	誤	正	誤

問3 下線部分^(b)議院内閣制について、生徒たちが議院内閣制に関する新聞を作成した。日本の議院内閣制に関する新聞記事の見出しとして適切でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

見出し1

内閣総辞職へ 不信任決議案が可決 政局混迷

見出し2

首相、衆議院解散を決断 総選挙へ

見出し3

新内閣発足 首相指名選挙で〇〇氏を選出

見出し4

総理大臣、拒否権行使 議会と対立深まる

- ① 見出し1 ② 見出し2 ③ 見出し3 ④ 見出し4

問 4 下線部分(c)地方自治について地方自治の本旨である「団体自治」と「住民自治」についての説明として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

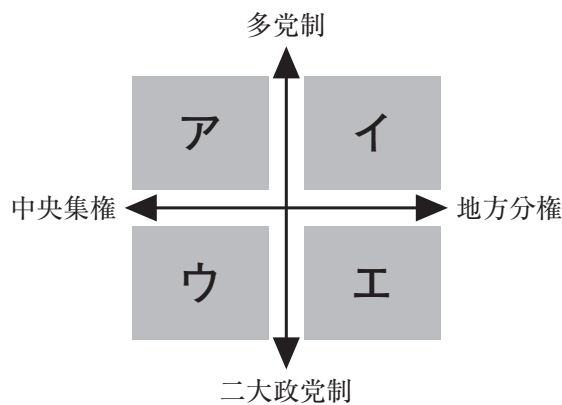
- ① 団体自治は、地方公共団体が国とは別の団体として独立し、自らの事務を処理することを意味する。
- ② 住民自治は、地方公共団体が政府の方針に従って行政を運営することを意味する。
- ③ 団体自治は、住民が間接選挙で首長を選ぶことを意味する。
- ④ 住民自治は、地方公共団体の財政が国によって完全に管理されることを意味する。

問 5 今回の授業の中で、生徒は民主政治と地方自治の権限に関する政策を立案し、それを2つの対立軸から整理した。生徒が考えた政策は下の図のどこに位置すると考えられるか。適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

生徒が考えた政策

- ・国政選挙において、比例代表選挙に配分される議席の割合を高めることで、少数派の意見も政治へ反映させる選挙制度改革を目指す。
- ・自治体にとって重要な案件について直接住民の意思を問う住民投票に法的拘束力をもたせるよう法改正を行うことを目指す。

図



- ① ア
- ② イ
- ③ ウ
- ④ エ

- 4 生徒たちが「総合的な探究の時間」で将来について考え、思いつくキーワードを書き出して次のように整理した。班で制作した模造紙と会話をを読んで、問1～問5に答えよ。

模造紙

<探究テーマ> これからの労働環境はどのようになっていくだろうか？

★特に、私たちが留意したいこと、現実社会が解決すべき課題を手がかりに

職業選択 高齢者雇用 AIの進化

(a) 未来社会 DX シンギュラリティ

サステナビリティ ワーク・ライフ・バランス

女性活躍 男性の育児休業 Well-being

これからの社会のキーワード

ブラックバイト

非正規雇用・ニート

職業選択のミスマッチ

過労死 離職率

(b) 働き方改革

格差 貧困率

人口減少社会

ハラスメント

高校生に必要な視点

コミュニケーション能力 主体性 やりがい

ICT教育 チャレンジ精神 キャリア意識

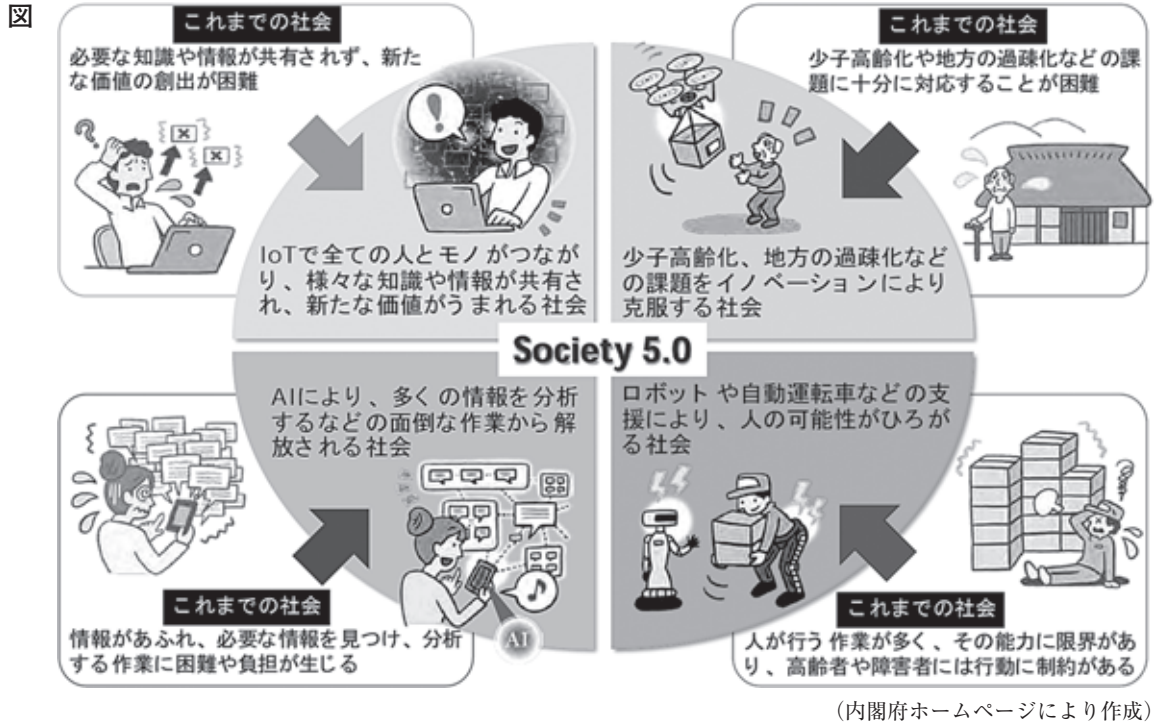
協調性 (c) インターンシップ ボランティア体験

解決すべき課題

会話文

- 生徒V：学校を卒業して社会に役に立つ人間になるために、どんな準備が必要かなあ。
- 生徒W：これからどんな時代が来るのか、現実社会でどんな課題があるかに敏感でいたい。
- 生徒X：情報社会がどんどん進歩して、世の中もまったく変わるだろうけど想像もできないよ。
- 生徒Y：そうだね。(d) 社会のあり方とか、人々の暮らしとか、日本の社会も大きく変わりそう。
- 生徒X：AIなどの情報技術が進展すれば、未来の世界はもっと豊かになっていくだろうね。
- 生徒Z：一方で(e) 世界の貧困や食糧問題などの地球規模の課題は早急に解決していかないと…。
- 生徒V：世界をよりよくするために、働くことを通じてできることから一歩ずつ行動していこう。

問 1 下線部分^(a)未来社会に関連して、次の図は Society 5.0 で実現する超スマート社会を内閣府がまとめたものである。この図を参考に、生徒Vはこれからの社会について考察して下の文章を書いた。文章中の **A** , **B** にあてはまるものの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **16** 。



文章

Society 5.0 の超スマート社会が想定する未来では、たとえば **A** ようなことが期待できます。そういったことが加速していくと、やがて **B** 社会へ向かっていくと考えられるでしょう。

A にあてはまる記述

- a 交通渋滞を避けるための最適ルート AI が判断し移動の利便性を向上させていく
- b 決済手段がクレジットカードから現金へ移行することで詐欺などの犯罪をなくせる

B にあてはまる記述

- c 人々のニーズが自動的に判断され、むだを削りながら合理的に経済発展を遂げられる
- d 情報リテラシーをもたない人の社会参画が難しくなり、地域や高齢者の期待に応えづらい

	A	B
①	a	c
②	a	d
③	b	c
④	b	d

問 2 下線部分^(b)働き方改革に関連して、生徒Wは「公共」の授業で習った働き方改革関連法について興味をもって調べたところ、その制度等がまとめられた次の資料を見つけた。それに続く下の生徒Wと生徒Vの会話文中の **C** , **D** , **E** にあてはまるものの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **17** 。

資料 働き方改革関連法に関する制度や取り決め

制度・取り決め	内容
時間外労働の上限規制	残業時間の上限を原則として月 45 時間、年 360 時間まで。特別条項を結んだ場合でも、最大月 100 時間未満とする。
年次有給休暇の取得義務化	年次有給休暇が 10 日以上付与される労働者に対し、年 5 日の取得を使用者に義務づける。
不合理な待遇差の禁止	正社員と非正社員との間で、基本給や賞与、福利厚生などあらゆる面で不合理な待遇差を禁止する。
フレックスタイム制の拡充	1 か月以内の一定期間における総労働時間を定めておき、出社と退社の時刻を労働者が自由に決められるようにする。
勤務間インターバル制度	終業時刻から次の始業時刻までの間隔(インターバル)を一定時間とすることで、適切な休息時間を取るよう促進する。

会話文

生徒W：制度やしきみが整えられて労働者の働き方が変われば、社会全体の生産性の向上やワーク・ライフ・バランスの改善にもつながりそうだね。

生徒V：この資料を見ると、労働者の働き方について **C** のように日数などの数値目標を決めて改善を目指す取り決めもあれば、それぞれの生活スタイルに合わせて働く時間を柔軟に対応しようとする **D** といったしきみも考えられているんだね。

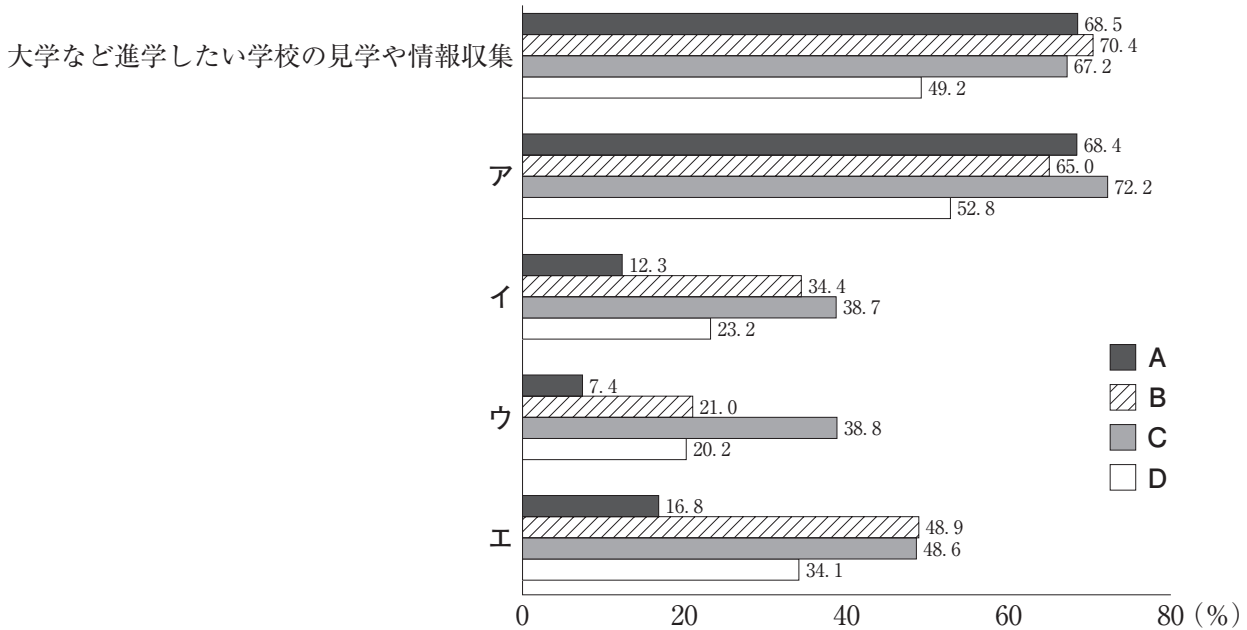
生徒W：確かに、より働きやすい労働環境になる面もあるけれど、もっと働いて稼ぎたいと考える労働者からすると **E** はかえって足かせになってしまうかもしれないよ。

生徒V：でも、過労によって心や体を痛めてしまう人も少なくないから、適切な休みは必要だと思うよ。

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| C | D | E |
| ① 時間外労働の上限規制 | 年次有給休暇の取得義務化 | 不合理な待遇差の禁止 |
| ② 年次有給休暇の取得義務化 | フレックスタイム制の拡充 | 時間外労働の上限規制 |
| ③ 不合理な待遇差の禁止 | 勤務間インターバル制度 | フレックスタイム制の拡充 |
| ④ 勤務間インターバル制度 | 不合理な待遇差の禁止 | 年次有給休暇の取得義務化 |

問 3 下線部分(c) インターンシップに関連して、次の表は、日本、韓国、中国、米国の高校生が将来の生き方や進路にかかわる活動のうち「取組をしている」と回答した割合を比較したものであり、ア～エには、「職場の見学」、「ボランティア活動」、「職業について調べること」、「就業体験(インターンシップ)」のいずれかの項目が入る。また、凡例のA～Dは4か国のいずれかを示している。生徒Xは、表から読み取れる内容について、下のメモにまとめた。これを読み、項目と凡例を正しく表現している文として適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

表



将来の生き方や進路にかかわる活動への取組(「取組をしている」と回答した割合)

(国立青少年教育振興機構「令和5年 高校生の進路と職業意識に関する調査報告書」により作成)

メモ

- ・中国は3つの項目で4か国中1位であり、そのうち「就業体験(インターンシップ)」の項目では2位以下の3か国を大きく引き離している。
- ・「大学など進学したい学校の見学や情報収集」と「職業について調べること」の2つの項目では、取組をしていると回答した韓国の高校生は50%程度に留まっている。
- ・日本は3つの項目で4か国中4位であり、そのうち「ボランティア活動」の項目では中国と米国の高校生の50%近くが取組をしていると回答している。

- ① アには「ボランティア活動」が、Aには日本があてはまる。
- ② イには「職場の見学」が、Bには米国があてはまる。
- ③ ウには「職業について調べること」が、Cには中国があてはまる。
- ④ エには「就業体験(インターンシップ)」が、Dには韓国があてはまる。

問 4 下線部分^(d)「社会のあり方」に関連して、生徒Xと生徒Yが「公共」の授業を受け興味をもったことについて次のように話し合っている。次の会話文中の **F** , **G** にあてはまるものの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **19** 。

会話文

生徒X：自分が幸せであるためには個人の生き方も大事だけど、社会もよりよくあるべきだって「公共」の授業で考えさせられたよ。

生徒Y：僕は最近、 **F** って考えるんだ。

生徒X：それは **G** をひろげるって理念のことだね。 **G** の実現には課題もあるけど、誰もが自分の人生に幸福感をもつためにも必要な考えだよ。

生徒Y：本当にそうなんだ。すべての人によりよい人生をかなえてくれる社会にするために自分には何ができるか、進学したら **G** について研究をしてみたいんだ。

F にあてはまる選択肢

- a からだの不自由などハンディキャップをもつ人が、日常生活で感じる障壁をなくすにはどうすればいいか気になっているんだ。それを解決するために65歳になると生活保護の給付が始まるけど、公的扶助は若い人が納める保険料で成り立っているから、少子化によって若者の負担が増えつづけていくと、そのしくみは持続不可能なのではないか
- b 国籍や信仰、価値観など一人ひとりがもつ違いを認めあい、すべての人を尊重していくにはどうすればいいか気になっているんだ。LGBTQ+といった性的少数者や日本で暮らす外国人などマイノリティに対する理解や配慮が十分でないと感じるし、違いを認めるにとどめず、それぞれの違いを生かしあう世の中にしていく必要があるのではないか

G にあてはまる選択肢

- c ノーマライゼーション
- d ダイバーシティ

	F	G
①	a	c
②	a	d
③	b	c
④	b	d

問 5 下線部分^(e)世界の貧困や食糧問題に関連して、「公共」の授業で、先生が次の図を提示して生徒たちに問いかけた。下の会話文の **H** , **I** , **J** にあてはまるものの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **20** 。

図



(朝日新聞デジタルにより作成)

会話文

先生：みんな、この図を見たことがありますか。Yさんはどうかな。

生徒Y：んー、えーっと、見たことがあるやつとちがうような…。

生徒Z：先生、見たことがありますよ。 **H** ですね。

先生：その通りです。 **H** はよく見るいまの国連目標の前に策定されていたものです。

生徒Y：へー、知らなかった。いまの目標とどういうふうにちがうのかな。

生徒Z：いま設定されている国連目標は **I** という認識がベースにある気がするよ。

生徒Y：確かに。先生が見せてくれたこの8つの目標は **J** という印象だよな。

先生：そうです。みんなは「だれ一人取り残さない社会」を目指して何ができるか考えていきましょう。

H にあてはまる語句

- a SDGs
- b MDGs

I , **J** にあてはまる文

- c 途上国だけの問題ではなく、すべての国が当事者となって解決を目指していく課題である
- d 先進国の視点で整理され、主に途上国が抱える問題として解決を目指していく課題である

	H	I	J
①	a	c	d
②	a	d	c
③	b	c	d
④	b	d	c

5 次の文章を読んで、問1～問4に答えよ。

1 生徒たちが「公共」の授業のまとめとして、持続可能な社会の形成に関する課題について学んでいる。

会話文

先生：今日は地球温暖化に関する国際的な取組について考えてみたいと思います。世界の二酸化炭素(CO₂)排出に関してまとめた資料1を見てください。大気中のCO₂濃度が増加する主な原因は、石炭・石油など化石燃料の燃焼によるものです。国・地域別排出量比が高い国・地域の特徴として、どのようなことが言えるでしょうか。

生徒X：国・地域別排出量比が資料1中の上位の3か国・地域に共通しているのは、**A**ということだと思います。

先生：そうですね。では一人当たりの排出量については、どうでしょうか。

生徒Y：一人当たりの排出量に関しては、先進国の方が途上国よりも多い傾向がみられます。

生徒X：そうした傾向をふまえると、国・地域別排出量比と一人当たりの排出量が共に上位3か国・地域に入っているのは、**B**のみになります。

先生：なるほど。**B**のCO₂排出量は大きな割合を占め、とりわけ重い責任を担っているとさえそうですね。では次に、こうした現状をふまえ、国際的にどのような取組が行われているか見てみましょう。資料2は京都議定書とパリ協定についてまとめたものです。まず、京都議定書とパリ協定の違いについて考えてみましょう。最も大きな違いは何だと思いますか。

生徒X：**C**だと思います。パリ協定では発展途上国も含めた様々な国が、対策を講じることが求められています。

先生：そうですね。さらに、目標達成の義務化に着目してみると、パリ協定は京都議定書に比べるとかなり緩いことも違いのひとつとしてあげられます。一方は温室効果ガス削減目標達成について義務化されていますが、もう一方では温室効果ガス削減目標を提出しますが、それを達成することは義務ではありません。

生徒Y：地球温暖化に対して、国際的な取組が行われていることは理解できました。今後、パリ協定の目標が達成できれば気温の上昇を抑えることは可能なのでしょうか。

先生：パリ協定には5年に1回削減目標を見直すというルールが設けられています。

生徒Y：なるほど。地球温暖化が深刻化するなか、より厳しい削減目標を表明することによって、各国が温室効果ガス排出ゼロに向かうという強い意志を感じることができます。

生徒X：地球温暖化に関する国際的な取組について考えてみましたが、私たちにも何かできることはあるのでしょうか。

先生：そうですね。では地球温暖化を解決する^(a)具体的な方策について、調べてみましょう。

資料1 世界のCO₂排出量に占める国・地域の排出割合と一人当たりの排出量の比較(2021年)

国・地域名	国・地域別排出量比(%)	一人当たり排出量(トン/人)
日本	3.0	7.9
韓国	1.7	10.8
中国	32.0	7.5
インド	6.9	1.6
ロシア	5.0	11.7
ドイツ	1.9	7.5
アメリカ	13.7	13.7
アフリカ合計	3.7	0.91

(全国地球温暖化防止活動推進センターホームページにより作成)

資料2

『京都議定書』
 京都議定書では、先進国の温室効果ガス排出量について、法的拘束力のある数値目標が各国ごとに設定されました。先進国全体で2008年から2012年までの約束期間に、削減基準年の排出量から5.2%削減することが約束されました。日本は6%の削減を約束しています。京都議定書は2020年までの温暖化対策の目標を定めたものです。

『パリ協定』
 2015年に開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)では、「パリ協定」が採択されました。パリ協定は「京都議定書」の後継となるもので、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みです。気候変動枠組条約に加盟する196か国が、長期の温室効果ガス低排出開発戦略を提出するよう努めるべきとしています。

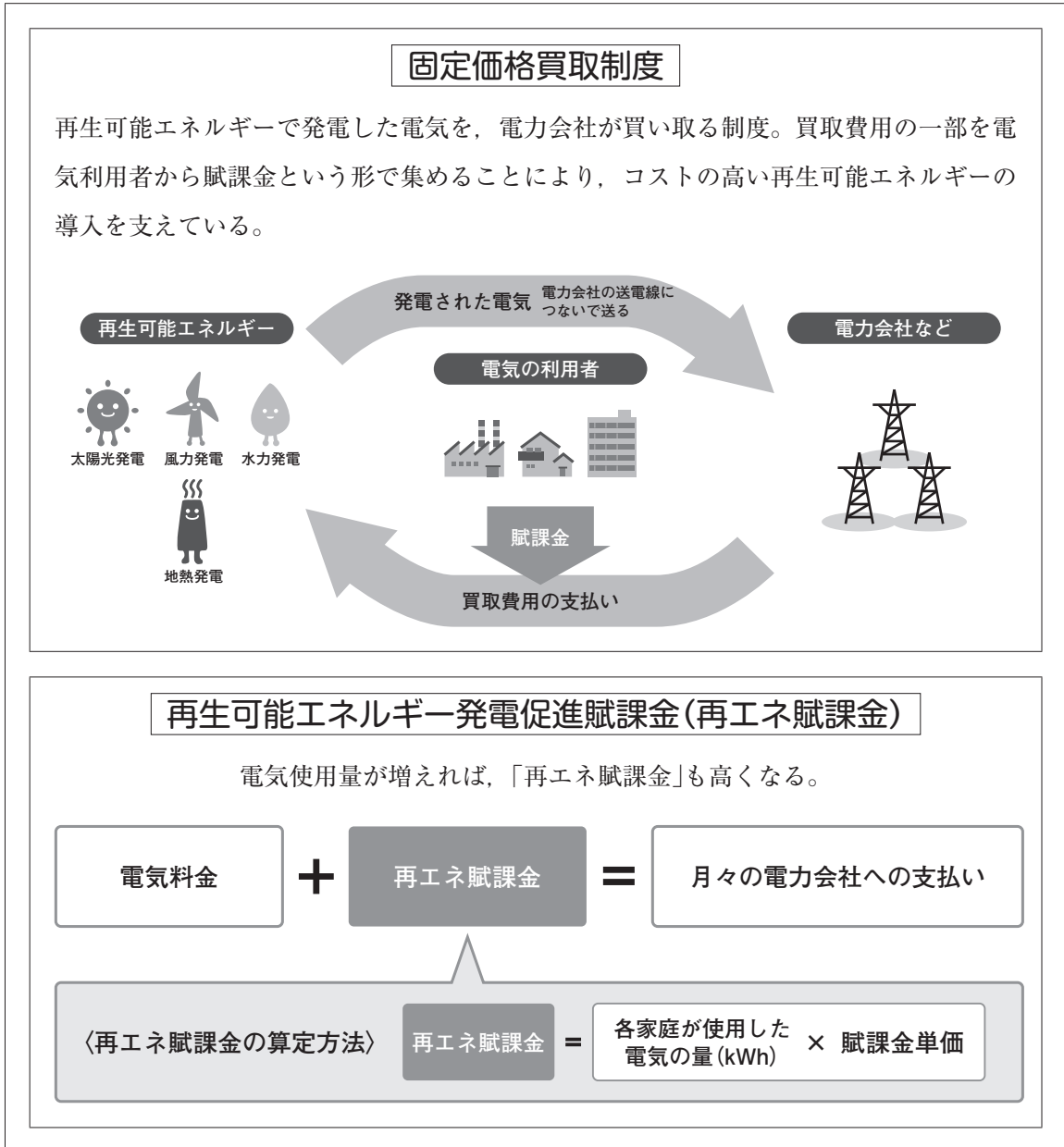
(全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) により作成)

問1 資料1と資料2より、会話文中の **A** , **B** , **C** にあてはまるものの組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **21** 。

- | A | B | C |
|--------------------|------|--------|
| ① 人口が急速に増加し続けている | 中国 | 対象国の範囲 |
| ② 人口が世界順位で上位を占めている | 中国 | 取決めの目的 |
| ③ 人口が急速に増加し続けている | アメリカ | 取決めの目的 |
| ④ 人口が世界順位で上位を占めている | アメリカ | 対象国の範囲 |

問 2 下線部分^(a)具体的な方策に関して、生徒たちは地球温暖化対策について再生可能エネルギーが重要なカギを握っているということに気づき、スライドにまとめて発表した。次のスライド1とスライド2は、生徒X、生徒Y、生徒Zのいずれかの生徒が、調べてまとめたものである。31 ページの生徒X、生徒Y、生徒Zの考えを読み、スライドを作成した生徒の組合せとして適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

スライド1

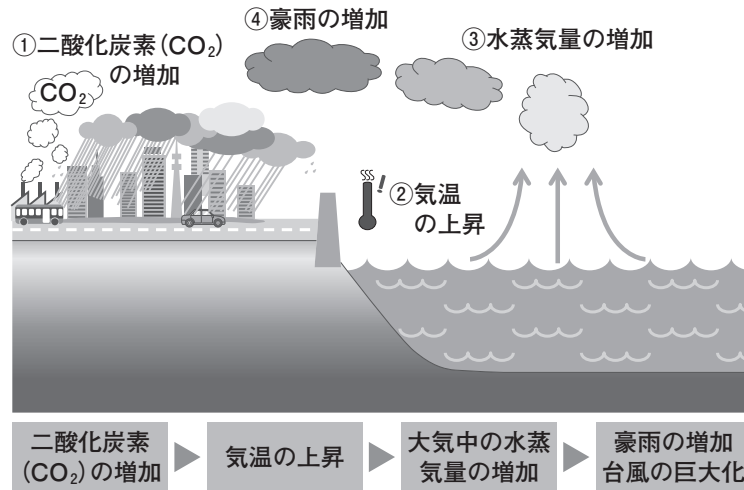


(経済産業省資源エネルギー庁ホームページにより作成)

スライド 2

気候変動による雨の降り方の変化

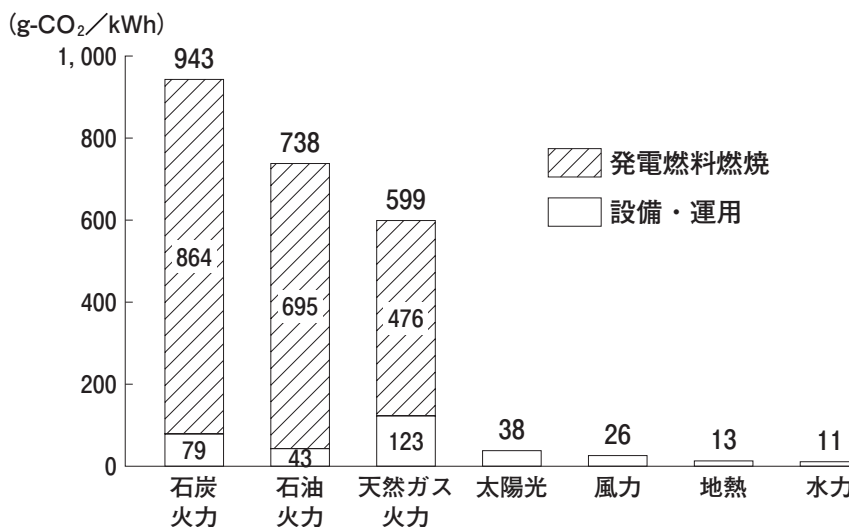
気温が高くなることで、大気中にため込まれる水蒸気量が多くなるため、一度に降る雨量は増加する。その結果、豪雨や猛烈な台風の接近などの自然災害が、気候変動の影響としてすでに起こり始めている。



(文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2020」, かながわ気候変動 WEB ホームページにより作成)

各電源の CO₂ 排出量

各電源の CO₂ 排出量は、発電燃料の燃焼だけでなく、原料の採掘から発電施設等の建設・燃料輸送・精製・運用・保守等のために消費されるすべてのエネルギーを対象として算出し、比較したものである。



(日本原子力文化財団ホームページにより作成)

生徒Xの考え

再生可能エネルギーは自然界に存在するエネルギーで、環境にやさしいエネルギーとして注目されている。ある地域の太陽光発電所と火力発電所を比較すると、太陽光発電所の設備は火力発電所の約2倍の面積を占め、広い土地を要するという課題を抱えている。よって日本は国土が狭く、限られた土地を有効利用することが重要なので、広い面積を必要とする太陽光発電には反対である。

生徒Yの考え

温室効果ガスの排出による地球温暖化は深刻さを増しており、待ったなしの対策が求められている。実際、石炭・石油など化石燃料の燃焼が地球環境にもたらす影響は甚大で、私たちの生活に打撃を与えている事例を身近にたくさん見ることができる。再生可能エネルギーを利用した発電のCO₂排出量はゼロではないが、化石燃料を利用した発電に比べそれを抑える効果があるので、再生可能エネルギーを利用した発電をより一層、推進すべきである。

生徒Zの考え

再生可能エネルギーを利用した発電は、石炭・石油など化石燃料を利用した発電に比べ、CO₂の排出を抑える効果がある。このように環境にもたらす影響については評価できるが、実際の生活場面に注目してみると、家計に負担をかける要因となっている。よって、再生可能エネルギーを利用した発電の普及拡大についてその賛否を論ずる際に、再生可能エネルギーを利用した発電がもたらす影響を多面的に考えることが重要である。

スライド1

スライド2

- | | | |
|---|-----|-----|
| ① | 生徒X | 生徒Y |
| ② | 生徒X | 生徒Z |
| ③ | 生徒Z | 生徒X |
| ④ | 生徒Z | 生徒Y |


- 2 生徒たちが、エネルギーと環境について調べたことをもとに、これから日本がとるべきエネルギー政策について、クラスで発表をしている。

生徒Uの発表スライド

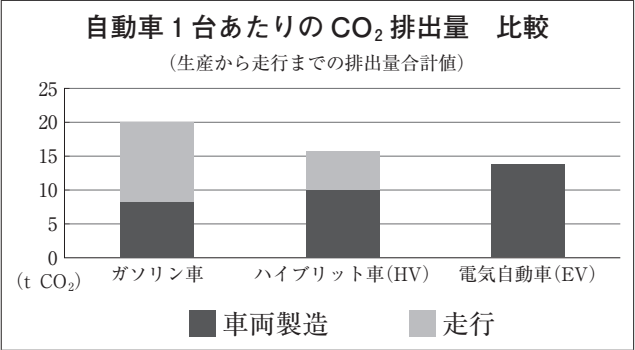
政策：今後 20 年間で、①日本での自動車販売に占める電気自動車の割合が 50 % を超えるために、新規での電気自動車の購入者への補助金を増やし、②既存の各ガソリンスタンドに電気自動車用の急速充電器スタンドを設置する。

説明：

- 地球温暖化を止めるため、走行時の二酸化炭素(CO₂)の排出がない電気自動車を日本でも増やすべき。(資料1)
- 2023年、日本の新車販売台数に占める電気自動車の割合は1.6%で、台数は88,535台だった。一方で、ノルウェーでは2021年の新車販売台数に占める電気自動車の割合は65%である。
- 「電気自動車は高価で買いにくい」という消費者のため、政府の補助金をもっと増やしていくべき。
- 電気自動車普及のため国内のインフラ整備も必要である。ガソリンスタンドで急速充電できれば便利だろう。



資料 1



(IEA 'EV Life Cycle Assessment Calculator' により作成)

先生の板書

「政策の持続可能性を評価する 3つの観点」

①

妥当性

…その策が、問題を解決するための手段として妥当か、また問題点の分析は妥当かを検討する

②

効果

…その策を実施することで、どのようなプラス/マイナスの効果や影響が予想できるかを検討する

③

実現可能性

…その策は予算が確保できるか、また技術的には実現可能かを検討する

→これら3つの観点を活用し、他の政策に対して質問や意見を述べよう

会話文

生徒U：私は、スライドで示しているように、日本ではもっと電気自動車を普及させるべきだと考えています。その理由は、電気自動車は走行時にCO₂を排出しないので、地球温暖化の防止につながると考えたからです。

先生：ありがとうございます。Uさんに対する質問や意見がある人は、発言して下さい。なお、板書で皆さんに示した「政策の持続可能性を評価する3つの観点」を活用して下さい。

生徒V：私が調べた情報だと、電気自動車用の急速充電器は1台につき、本体価格と工事費を合わせて500万円以上もかかるそうです。また、電気工事士の資格がないと設置できないとのこと。2023年の時点で、全国には約28,000軒のガソリンスタンドがあります。先生が板書した「実現可能性」の観点を活用して質問をすると、急速充電器を全国のガソリンスタンドに設置するというUさんの政策は、どうやってその予算を確保しますか。また、技術的には実現可能ですか。

生徒U：確かに、必要な費用や技術が揃わなければ、私が考える政策の実現可能性も低いですよ。

生徒W：私が調べたところでは、日本では、2023年の時点で500万人以上が既存のガソリン車などに関連する産業に就いているそうです。このことについて先生が板書した「効果」の観点を活用して質問をすると、D。

生徒U：Wさんの言う通り、この政策を実施することの効果について一度考えたほうがよさそうですね。

先生：Uさんがスライドで示した資料1を見ると、電気自動車は製造時にガソリン車の約2倍のCO₂を排出するようですね。また、約7割を火力発電に依存する日本では、電気自動車の動力である電気を作る際にも、たくさんのCO₂を排出します。電気自動車を推進するためには、まだ多くの課題がありそうですね。

生徒U：ありがとうございます。皆さんの意見をもとに、(a)自らの策を再検討し、練り直してみます。

問3 会話文中のDにあてはまるものとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は23。

- ① もし電気自動車の購入者が急増したら、その人たちに支払う補助金分の予算はどうやって確保しますか
- ② 電気自動車を推進することで、既存の自動車産業に就く人々の雇用にどう影響しますか
- ③ 電気自動車の製造時に多くのCO₂が排出されるため、電気自動車推進はCO₂の問題を解決する手段として妥当ですか
- ④ 国内で既存のガソリン車などの製造をやめて、電気自動車のみを作ることは、技術的に可能ですか

問 4 下線部分^(a)自らの策を再検討し、練り直してに関連して、生徒Uが授業後にまとめた次のレポート中の **E** , **F** にそれぞれあてはまるものの組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **24** 。

レポート

私は持続可能な社会づくりに向けて、電気自動車の普及が必要だと考え、政策を提案した。クラス発表では、「電気自動車用の急速充電器は費用が高いため、その国内整備は実現可能か」などの質問が出された。また、先生から「電気自動車の製造や発電の際にCO₂が多く排出されるのでは」という意見をもらった。それらを参考に再調査をし、CO₂削減に向けてより持続可能な社会づくりにつながる政策の修正案を考えたい。

まず、電気自動車をたくさん作って普及させれば、地球温暖化を防止できると私は考えていた。しかし、電気自動車の電気エネルギーを蓄える電池を製造する時に多くのCO₂が排出されるため、今の製造技術で電気自動車を大量に作ると、地球温暖化を助長するおそれがあると分かった。そこで、政策①「新規での電気自動車購入者への補助金を増やす」については、**E** へと変更することで、CO₂排出を抑えながらも今後電気自動車を普及させられる、より「妥当性」の高い手段(政策)へと修正することができると考えた。

政策②「既存の各ガソリンスタンドに電気自動車用の急速充電器スタンドを設置する」については、約28,000軒もあるガソリンスタンドへの設置には、多額の費用がかかり、電気工事士が設置しないといけないため「実現可能性」に課題があることが分かった。なお、右の資料2によれば、電気自動車の充電方

資料2

EVの充電方法	コンセント	普通充電器	急速充電器
充電シーン/時間	車を使っていない駐車時に数時間		立ち寄った場所で30分以下
充電設備1台価格	数千円	数十万円	数百万円
その他工事費	数十万円	数十万円	数百万円～
合計導入費用	約30万円	約70万円	500～1,200万円
留意点	車載の充電ケーブルを使う必要	充電時間はコンセントとほぼ同じ	導入費用が高価

(一般社団法人次世代自動車振興センターホームページにより作成)

法は急速充電器以外にもコンセントや普通充電器が存在する。Vさんの「どうやってその予算を確保しますか。技術的には実現可能ですか。」という問いを受け、予算と技術の面でより「実現可能性」を高めた政策②の修正案として、**F** を提案する。また、太陽光発電の推進を組み合わせることで、地球温暖化の防止を兼ねたエネルギー供給が可能になると考えた。

E にあてはまる選択肢

- ア 新規の電気自動車購入者に対して支払う補助金をさらに倍増させること
- イ 電池製造時のCO₂排出量の削減に取り組む国内の企業・開発者に対して、補助金を多く支払うこと

F にあてはまる選択肢

- ウ 電気自動車を新規購入した約9万人の方に対して、家庭へ専用コンセントの設置を支援すること
- エ 全国に約58,000軒存在するコンビニエンスストアに急速充電器を設置すること

	E	F
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

